

【平成30年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、平成30年度に募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件が変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。

※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

案内のあった時期	申請方法	奨学会等名	給付/貸与	金額(円)	受給期間	課程				年齢	専門分野	併用条件	出願資格等			全体の採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数	
						学部	修士	博士	研究生				学力優秀	経済困難	面接						その他の主な要件
12月	大学推薦	(一財)岩崎とみ奨学財団【翌年度支給】	給付	30,000円/月額	1年間	○	○	○	○	2年以上		併用可	○	○	○	・平成31年2月現在、学部2年生在学以上の者 ・学業成績優秀かつ学費の支弁が困難である者 ・採用後、奨学財団が指定する銀行に自身で普通預金口座を開設できる者 ・財団指定行事への出席を優先できる者	30名	1名	4名	1名	1名
12月	大学推薦	(公財)フジクラ育英会【翌年度支給】	貸与	学部:30,000円/月額(無利子) 院:40,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○				○	○	○	・学部生および大学院生(ただし、学部生優先) ・日本国籍を有する者 ・学力・人物・健康ともに優れている者で、学費の支弁が困難な者	記載無	1名	2名	1名	0名
12月	直接応募	(公財)東亜留学生育友会	給付	30,000円/月額	1年間	○	○	○	○				○	○	○	・大学院の正規課程に在籍している日本人学生 ・他の奨学金を月額15万円以上受給していないこと ・月例金(月1回、原則第2日曜日に開催、奨学金を手渡し)に毎月出席可能であること	若干名				
12月	直接応募	(公財)山田長満奨学会【翌年度支給】	給付	120,000円/月額	1年間	○	○	○	○	通学者含む	通学者含む	通学者含む	35歳未満			・2019年4月現在、国内に居住する者 ・毎月指定の奨学金給付日(第2金曜日)に直接受け取りに来られる者 ・過去に当財団の奨学金を受給していた者は応募不可 ・在籍中に海外留学する者(予定者)は除く	6名				
12月	直接応募	(公財)似島国際奨学財団下期【翌年度支給】	給付	自宅生:50,000円/月額 自宅外生:80,000円/月額	1年間 ※支給開始2019年9月以降(再選考による延長は可能)	○	○	○	○	1~4年生		給付奨学金との併用不可	○	△	○	・学業・人物ともに優秀で健康であり、国際理解と国際間の友好親善に寄与できる者 ・採用された場合、財団主催の交流会への出席、毎月の奨学生レポートの提出が必要(交流会へ欠席、奨学生レポート提出の遅れ、提出がない場合は、奨学金が停止、もしくは打ち切りとなる) ・休学、海外留学した場合は、奨学金が停止、もしくは打ち切りとなる	約100名				
12月	直接応募	いわき市未来につなぐ人財投資奨学金返還支援事業【再募集】	返還補助	在学中に貸与を受けた奨学金の2分の1の額 ※ただし、(64,000円×奨学金貸与月数)の2分の1の額または1,536,000円のいずれか少ない額を上限とする		○	○	○	○							・学部、大学院に在学中で平成31年度に修業年限以内で卒業(修了)予定の者 ・在学中に日本学生支援機構第一種奨学金・第二種奨学金、いわき市奨学金、福島県奨学金の貸与を受けている者 ・卒業(修了)した翌月1日から起算して6か月以内に市内事業所等(詳細は募集要項参照)に正規職員又は所定労働時間が正規職員に準じる職員として就職することを予定している者 ・卒業(修了)後、いわき市内に定住することを予定している者	38名程度				
1月	大学推薦	(公財)帝人奨学会 帝人久村奨学生(修士課程)【進学後支給】	貸与	80,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○	通学者		併用可	○	○	○	・今年度秋または翌年度4月に修士課程に進学することが決定している、または見込まれる大学院生 ・専門面接あり ・修了後、財団指定の大学研究機関等で学術研究活動に貸与期間の2倍の期間従事した場合には返還が免除される制度あり	10名程度(うち1名程度は留学生)	3~5名(留学生含む)	0名	0名	0名
1月	直接応募	山形県若者定着奨学金返還支援制度【地方創生枠】	返還補助	26,000円×支援対象の月数、又は奨学金の返還残高のいずれか低い額		○	○	○	○							・山形県内に居住し県内の県内の高等学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程を卒業(卒業見込みを含む)し、学部、大学院修士(博士前期)課程に在学中又は進学予定の者 ・卒業(修了)後6か月以内に山形県内に居住し、3年以上継続する見込みの者 ・支援対象の産業分野(商工、農林水産、建設、医療・福祉等)に就業希望の者 ・日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けている者又は希望する者	100名				
1月	直接応募	山形県若者定着奨学金返還支援制度【産業団体等連携枠】	返還補助	26,000円×支援対象の月数、又は奨学金の返還残高のいずれか低い額		○	○	○	○							・山形県内の高校、特別支援学校高等部又は専修学校高等課程の卒業生 ・学部、大学院修士(博士前期)課程に在学中で平成31年3月以降卒業(修了)の者 ・卒業(修了)後6か月以内に山形県内に居住し、3年以上継続する見込みの者 ・卒業(修了)後、対象分野(詳細は募集要項を参照)ごとの指定就業先に就業希望の者 ・日本学生支援機構第一種奨学金または第二種奨学金、山形県内市町村が実施する奨学金の貸与を受けている者	募集要項参照				
2月	大学推薦	(公財)浦上奨学会<広島県>【春季募集】	貸与	5万・6万・7万・8万円/月額のうちから選択(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○	通学者		併用可	○	○	○	・広島県出身者で2018年4月に大学院に入学する者 ・最長で修了した場合、返還額を半額免除する	記載無	1名	0名	0名	0名
2月	大学推薦	JT国内大学奨学金	給付	自宅:50,000円、自宅外:100,000円/月額 入学料300,000円 授業料270,000円×2回/年間 自宅外生のみ入学一時金300,000円	最短修業年限まで	○	○	○	○	1年生	20歳未満(2018年4月1日現在)	8月以降の併用不可	○	○	○	・世帯収入が、給与の場合は年収400万円未満、給与以外の場合は所得200万円未満、給与と給与以外の両方の場合場合は合算した金額が400万円未満 ・8月以降、他の奨学金の支給を受けない者(貸与奨学金、授業料免除、一時金等の併用も不可) ・在籍大学の修士(博士前期)課程への進学を希望し、かつ進学理由や学業成績が優れた奨学生については、別途審査のうえ、最長2年間、同額の支給を継続する ・アンケート等への回答、及び寄付者等が主催する行事に参加すること	10名程度	1名	3名	1名	0名(高校予備生1名含む)
2月	大学推薦	(公財)古河記念基金	給付	自宅:30,000円/月額 自宅外:35,000円/月額	最短修業年限まで(最長6年)	○	○	○	○	2年以上			○	○	○	・日本語の学生で2019年4月現在、学部2年生以上または大学院に在籍する理工系専攻(家事学含む)の者 ・金銭的関係の深い親縁関係の学生を優先とする ・学業および人物とも優秀かつ健康で、卒業までの進級が十分見込めること ・家庭の経済状況が、年収900万円を超えないこと(税込み、年金収入および兄弟姉妹の収入は算入しない)	記載無	1名	11名	1名	5月中旬頃
2月	大学推薦	(公益信託)松尾金蔵記念奨学基金	給付	1,000,000円/年額	最短修業年限まで(3年以内)	○	○	○	○	1年生	30歳以下(平成30年4月1日現在)	併用不可	○	○	○	・品行方正、健康で学業成績が優秀な者 ・修士:家計支持者の前年度収入または本年度見込みが原則税込800万円以下 ・博士:本人の前年度収入または本年度見込みが原則税込250万円以下	10名程度	修士1名 博士1名	0名	0名	0名
2月	大学推薦	(公財)吉田育英会 マスター21【進学後支給】	給付	1奨学金80,000円/月額 または 学校給付金 奨学期間内に合計 2,500,000円以内の実費 2海外研究活動支援奨学金 奨学期間内に合計500,000円以内の実費	修士(博士課程前期)入学月から2年以内	○	○	○	○	4年生	27歳未満(2018年4月1日現在)	給付奨学金との併用不可	○	○	○	・2018年4月1日現在、学部4次在学中の者 ・秋学期または翌年度春季に日本の大学院修士(博士前期)課程に進学予定の者(他大学への進学も可) ・面接あり ・奨学生証授与式、懇親会、新規採用者交流会等財団主催行事への参加あり	15名	1名	4名	1名	0名
2月	大学推薦	(公財)吉田育英会 ドクター21【進学後支給】	給付	1奨学金200,000円/月額 2学校給付金 奨学期間内に合計2,500,000円以内の実費 3海外研究活動支援 奨学期間内に合計1,000,000円以内の実費	博士課程後期入学月から3年以内	○	○	○	○	2年生	30歳未満(2018年4月1日現在)	給付奨学金との併用不可	○	○	○	・2019年4月1日現在、修士(博士前期)課程2年次在学中の者 ・秋学期または翌年度春季に日本の大学院博士課程後期に進学予定の者(他大学への進学も可) ・面接あり ・奨学生証授与式、懇親会、新規採用者交流会等財団主催行事への参加あり	5名程度	2名	1名	1名	6月中旬頃
2月	大学推薦	(一財)大西・アイビ記念財団<香川県>	給付	80,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○		学部:満23歳以下 院:満33歳以下		○	○	○	・香川県内の高等学校を卒業し、他都道府県の大学・大学院に在籍するもの ・目安となる家計収入の上限は、世帯収入が給与の場合は年収600万円未満、給与以外の場合は所得340万円とする ・心身ともに優れている者 ・前年度までの成績(GPA)が3.00以上	10~15名程度		学内選考無	0名	0名
2月	大学推薦	(一財)エンパス教育振興財団	給付	50,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	2.3,4年生		給付奨学金との併用不可	○	○	○	・2018年4月時点で理工学部の2~4年生であること ・学業優秀であり、経済的に困難と認められる者 ・心身ともに優れている者で高い志を持ち、品行が正しく、将来良識ある社会人としての活躍が期待できる者	30名程度	5名以内	18名	5名	3名
2月	大学推薦	(公財)同盟育成会 吉野給与奨学生	給付	学部:40,000円/月額 修士:40,000円/月額 (初年度4~7月分を8月に、8月以降は偶数月に2か月ごとに支給)	最短修業年限まで(最長2年)	○	○	○	○	2年生	1年生	併用可	○	○	○	・2018年4月に学部3年生に進学し、ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指して勉学に励んでいる者または修士(博士前期)課程1年生に進学し、ジャーナリズム、マスコミ関係の研究に従事またはジャーナリストを目指している者 ・志望学部・健康優良で学業成績優秀(後述5割以上)な者で学費の援助が必要であると認められる者 ・両親(家計支持者)の収入(税込)が標準世帯(両親と子供2人)の場合、給与所得者は950万円以下、給与所得者以外は500万円以下であること ・作文、アンケートの提出及び財団が主催する研修会に出席できる者	学部25名 院25名	学部1名 院1名	学部2名	学部1名	学部1名
2月	大学推薦	(公財)博経児童教育振興会 博経報載教育奨学奨学金	給付	授業料相当額:50,000円/月額 ※授業料免除との併用の場合減額あり 自宅外生への特別支援額:50,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○		小学校教員、特別支援学校教員、中学・高等学校国語科教員のうち※授業料免除との併用の場合減額あり	給付奨学金との併用不可	○	○	○	・教育学部または教育人間科学部の学生で、小学校教員、特別支援学校教員、中学・高等学校国語科教員のいずれかを志す者 ・学業優秀であり、経済的に困難と認められる者 ・海外短期留学支援制度(渡航費、留学・活動費の支援)あり ・採用された場合、博経こども研究所との研修会としての活動をはじめ、財団の主催するオリエンテーション、交流会、研究会等へ参加すること	35名程度	2名	4名	2名	2名
2月	大学推薦	(一財)ベターホーム協会	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで(最大3年)	○	○	○	○	2年生	生活科学・栄養学・食物学・食品など広く食に関わる学問を先行している学生優先	給付奨学金との併用不可	○	○	○	・学部2年生で平成30年4月現在、22歳未満の者 ・専攻は問わないが、特に生活科学・栄養学・食物学・食品など、広く食に関わる学問を専攻している学生を優先 ・学業を支える保護者が経済的に困難している者 ・卒業後、社会、生活文化の向上に貢献できること ・在学中、交換留学を希望する者は応募資格対象外 ・採用された場合、協会が行う行員のついで(1年に1回)に必ず参加できる者	16名	1名	3名	1名	0名
2月	大学推薦	(公財)松原奨学育成基金<長崎県>	貸与	42,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○			併用可	○	○	○	・長崎県内に住所を有する者の子弟 ・交通事故によって家計の支持者または保護者が死亡または重度の後遺症のため就業不能となった場合、経済的に支障を生じ、進学あるいは修学の継続が困難となった者もしくは向学心に富み、有能な素質を持ちながら、家庭の経済的理由によって、進学あるいは修学の継続が著しく困難である者 ・成績優秀(5段階評価で概ね3.3以上)、品行方正で身体健康である者 ・交通遺児は、貸与した奨学金の半額を返還免除	記載無		0名	0名	0名
2月	大学推薦	(公益信託)萬谷記念かながわ奨学基金	給付	修士:800,000円/年額 博士:1,200,000円/年額	修士2年以内 博士3年以内	○	○	○	○	1年生	1年生	併用不可	○	○	○	・家族の生計を支える者の前年度の年収または本年度の見込みが原則税込700万円以下 ・品行方正、健康で学業成績が優秀であり、勉学していくうえで奨学金の援助を必要とする独身者	5名程度	3名	8名	3名	1名
2月	大学推薦	(公財)フジシールパッケージング教育振興財団	給付	学部:50,000円/月額 大学院:60,000円/月額	最短修業年限まで(各学年在学中に継続審査あり)	○	○	○	○	3年生	1年生	日本学生支援機構のみ併用可				・向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正であるもの ・パッケージに興味、関心のあるもの ・チャレンジ精神が旺盛で国際感覚を持つもの ・年1~2回、財団主催の研修会、研修会に出席すること	学部37名 院12名	学部1名 修士1名	1名	1名	6月中旬頃
2月	直接応募	(公財)芸芸協会<広島県>	貸与	20,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○			併用可	○	○	○	・広島県の高等学校を卒業し、東京都内並びにその周辺の大学(大学院を含む)に在学の収入状況は、日本学生支援機構の収入基準に準じる ・学習状況は、日本学生支援機構の成績条件に準じる					
2月	直接応募	(公財)常磐奨学会<いわき市、北茨城市およびその周辺地域>	貸与	30,000円/月額(無利子) 理系:35,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○			併用可	○	○	○	・福島県いわき市、茨城県北茨城市およびその周辺地域居住者の子弟 ・筆記試験・面接あり	12名程度				
2月	直接応募	(公財)朝鮮奨学会	給付	学部:25,000円/月額 修士:40,000円/月額 博士:70,000円/月額	1年間	○	○	○	○		学部:満30歳未満 院:満40歳未満(2018年4月1日現在)	貸与奨学金、本会奨学金との併用可				・韓国人、朝鮮人学生(特別永住者等(永住者、定住者、家族滞在などを除く)、特別永住者証明書・在留カード)、外国人登録証の国籍表示が韓国もしくは朝鮮) ・学部生、大学院生は1学年から応募できる。ただし、法科大学院の未修コース(3年制)に限り、2学年以上の者 ・成績が優良で学費の支弁が困難な者 ・採用された場合は、財団主催の講義行事に必ず出席できること	学部765名 院118名(前年実績)				学部1名
2月	直接応募	(公財)野島財団	給付	50,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	2年生		併用不可	○	○	○	・学業に対して熱意をもって取組、社会に対する貢献意識の高い者 ・1次選考合格者に対して面接を実施	7名				
2月	直接応募	(一財)佐々木泰樹育英会【学生起業家奨学金】	給付	学部:500,000円/年額(月額・給付型) 大学院:1,000,000円/年額(月額・給付型)	2019年4月~2020年3月まで(大学在学中に限る)	○	○	○	○		20歳以下(2019年4月1日現在)					・応募日現在、次の全てに該当する者 ・考え方が優れている者 ・公正かつ自由な経済活動の発展に寄与するという高い志と熱意を有する者 ・首都圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)に法人登記している学生起業家 ・奨学金給付通知授与式に必ず出席できる者、財団主催イベント等に原則出席できる者	若干名				
2月	直接応募	(一財)佐々木泰樹育英会【口語詩学生奨学金】	給付	学部:500,000円/年額(月額・給付型)	2019年4月~2020年3月まで(大学在学中に限る)	○	○	○	○							・日本語を有し、学部・大学院に在籍する者で次の全てに該当する者 ・口語による詩・アフォリズム・俳句・川柳・短歌に対する創作意欲がある者 ・優れた作品を通じて、文学の発展に寄与するよう熱意を有する者 ・奨学金給付通知授与式に必ず出席できる者、財団主催イベント等に原則出席できる者	若干名				
2月	直接応募	(一財)佐々木泰樹育英会【デザイン・工芸美術専攻学生奨学金】	給付	学部:500,000円/年額(月額・給付型) 大学院:1,000,000円/年額(月額・給付型)	2019年4月~2020年3月まで(大学在学中に限る)	○	○	○	○		20歳以下(2019年4月1日現在)					・日本語を有し、学部・大学院においてデザインまたは工芸美術を専攻する者で次の全てに該当する者 ・デザインまたは工芸美術の専攻分野で優れた感性と知識がある者 ・優れた作品を通じて、社会の発展に寄与するよう高い志と熱意を有する者 ・専攻分野に独立し、東京都にてデザイナーまたはアーティストとして活動を志している者 ・奨学金給付通知授与式に必ず出席できる者、財団主催イベント等に原則出席できる者	若干名				
2月	直接応募	(一財)佐々木泰樹育英会【建築(構造設計・設備設計を含む)専攻学生奨学金】	給付	学部:500,000円/年額(月額・給付型) 大学院:1,000,000円/年額(月額・給付型)	2019年4月~2020年3月まで(大学在学中に限る)	○	○	○	○		29歳以下(2019年4月1日現在)					・日本語を有し、学部・大学院において建築(構造設計・設備設計を含む)を専攻する者で次の全てに該当する者 ・考え方が優れている者 ・建築学及び構造設計・設備設計一級建築士として独立し、東京都に自ら建築士事務所を開業している者(総務設計事務所、建築会社、不動産開発業者等への勤務を希望する者を除く) ・奨学金給付通知授与式に必ず出席できる者、財団主催イベント等に原則出席できる者	若干名				
2月	直接応募	(公財)日本通運育英会	貸与	30,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○	1,2年生		併用可	○	○	○	・学術優秀、品行方正でありながら経済的理由により修学が困難な者	30名				
3月	大学推薦	YNU大澤奨学金	給付	50,000円/月額	最短修業年限まで(1年毎継続審査、修士課程継続あり)	○	○	○	○	2年生		給付奨学金との併用不可	○	○	○	・学部2年生で、学力優秀かつ経済的理由により修学が困難な者 ・引き続き横浜国立大学の修士(博士前期)課程に進学する場合は修士(博士前期)課程2年間も支給 ・採用された場合、大学が主催する奨学生の交流会等に必ず参加できる者	4~5名		22名	7名	5名
3月	大学推薦	YNU竹井准子記念奨学金	給付	50,000円/月額	最短修業年限まで(1年毎継続審査あり)	○	○	○	○	1年生		給付奨学金との併用不可	○	○	○	・学部1年生で、母子父子家庭または両親のいない家庭の日本人女子学生 ・学力優秀かつ経済的理由により修学が困難な学生 ・採用された場合、大学が主催する奨学生の交流会等に必ず参加できる者	3名		9名	5名	3名
3月	大学推薦	新入生スタートアップ支援金	給付	150,000円/一回	1回限り	○	○	○	○	1年生		入学一時金(入学料相当額)が支給される給付奨学金との併用・併用不可	○	○	○	・学部1年生で、学力優秀かつ経済的理由により修学が困難な者 ・当直の間、世帯年収が200万円未満(税込)の世帯者を対象とする	20名程度		22名	20名	20名
3月	大学推薦	(一財)上田記念財団	給付	50,000円/月額 (4月・7月・10月・翌年1月に3か月分まとめて支給)	2年間	○	○	○	○	3年生	1年生	学部:23歳未満 院:25歳未満	併用可			・土木工学系の学部3年または大学院修士(博士前期)課程に在籍する者 ・得業、土木工学を活かした職業に就職する意志を持つ者 ・人物、学力ともに優れ、かつ健康であったり、経済的援助を必要とする者	60名	2名	学部1名 院3名	学部1名 院1名	学部1名 院1名
3月	大学推薦	(一財)イハラサイエンス中野記念財団 ※日(一社)イハラサイエンス夢創造支援センター	給付	20,000円/月額	最短修業年限まで(上限2年間)	○	○	○	○	3年生		併用可				・平成30年4月に学部新3年に在籍する工学部系、文系学部の学生 ・学業・人物ともに優秀であり経済的理由により修学が困難であると認められる者 ・「ものづくり」に関心があり、将来「ものづくり」に夢や思いを持って関わってみたいという意欲を持つ者 ・採用された場合、初年度実施の財団主催懇話会に参加できる者	20名程度	1~3名	11名	3名	2名
3月	大学推薦	(公財)伊勢丹奨学会	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	1年生		併用可				・高等学校最長2か年の評定平均値3.5以上の者 ・日本学生支援機構奨学金に準じた経済収入基準あり ・採用された場合、財団行事への出席が可能な者	10名	2名	11名	2名	1名
3月	大学推薦	(公財)小原白梅育英基金	給付	50,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	1年生	21歳まで	日本学生支援機構のみ併用可				・家計基準が日本学生支援機構第一種奨学金の基準に準じ、その基準内であること ・学力基準が高校の評定平均3.5以上 ・奨学生の集い等財団主催行事に必ず参加できる者 ・読書、読書、男子の長髪は不可 ・品行方正で、礼儀、礼節、身なり、言葉遣いが財団の奨学生として相応しい者 ・社会人として勤務経験のないことが望ましい	27名程度	2名	5名	2名	2名
3月	大学推薦	(公財)佐藤定雄国際奨学財団	給付	30,000円/月額 初年度4~7月分を8月に、8月以降は2か月ごとに支給)	2年間	○	○	○	○	2,3年生		併用可				・理工系の学部に通う学生で、品行方正、志望堅固、健康で学業成績が優秀な者又はスポーツに励んでいる(全学部対象。全国大会レベル程度の実績がある)者 ・年収基準が父母の年収合計が税込800万円未満、就学中の兄弟姉妹が本人を含め3人以上の場合は、年収1,000万円未満を目途 ・採用された場合、財団が実施する行事に参加するとともに、原則として年1~2回の面接に応じることが出来る者	15名程度	3~5名	8名	4名	2名
3月	大学推薦	(公財)小堀越久学生等支援会	貸与	40,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○			併用可				・家計扶養者の年間収入(税込)は、1,000万円以下であること ・経済的な理由により、学費の援助を必要とする者 ・在籍大学の大学院へ進学する場合は、更新手続きを経て貸与継続可	記載無	4名	学部2名 院4名	学部1名 院1名	学部1名 院1名

【平成30年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、平成30年度に募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件が変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。
 ※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

案内のあった時期	申請方法	奨学会等名	給付/貸与	金額(円)	受給期間	課程				年齢	専門分野	併用条件	出願資格等			その他の主な要件	全体での採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数	
						学部	修士	博士	研究生				学力優秀	経済困難	面接							
3月	大学推薦	(公財) 榎山奨学財団	給付	40,000円/月額	最短修業年限まで(継続審査あり)	○				1年生		日本学生支援機構、地方公共団体奨学金との併用可	○	○	○	・再入学者、夜間の学部には在学者は応募不可 ・学業・人物ともに優秀で、かつ修業可能心身を持ち学習の援助を受けることが必要であると認められる者 ・採用された場合は財団主催するオリエンテーション、各種行事、面談等に必ず出席できる者	41名	1名	3名	1名	1名	
3月	大学推薦	(公財) 佐藤奨学会	給付	学部: 25,000円/月額 院: 30,500円/月額	最短修業年限まで	○	○					併用可	○	○		・学業・人物ともに優秀で、かつ健康であり、学習の支弁が困難であると認められる者	学部13名 院4名	1名	学部27名 院37名	学部1名	0名	
3月	大学推薦	(一財) 藤原英美会	給付	25,000円/月額 (病数月に2か月分を支給)	1年間	○	○					併用可	○	○	○	・学業優秀で、学習の援助を受けることが必要であると認められる者 ・将来社会的に有益な活動を目指す者	10名	1名	学部38名 院44名	院1名	院1名	
3月	大学推薦	(一財) 清水育英会	給付	50,000円/月額	最短修業年限まで	○				学部: 満23歳以下 院: 満39歳以下 (2018年4月1日時点)	建築、土木又は都市計画等	併用可	○	○	○	・建築、土木又は都市計画等を専攻する学部2~4年生又は博士課程前期に在籍する者 ・成績要件が前年度までのGPA3.0以上 ・収入要件の目安が給与収入+世帯世帯合計収入700万円未満、給与収入以外の世帯は350万円未満	30名程度	3名以内	学部5名 院6名	学部1名 院2名	学部1名 院1名	
3月	大学推薦	(公財) TAKEUCHI育英奨学会 《長野県》	給付	60,000円/月額 (4~7月分は8月に8月以降は2か月分を隔月支給)	2年間	○	○			1年生	機械工学、電気工学、制御工学等	併用可	○	○		・平成30年4月現在、学部2~3年生又は博士課程前期1年生 ・機械工学、電気工学、制御工学等の理工系の理工系の学生で長野県出身者 ・品行方正、志望堅固、健康で学業成績が優秀であり、学習の支弁が困難と認められる者 ・財団が実施する授与式・交流会に必ず出席できる者	42名程度	学内選考無	院2名	院2名	院1名	
3月	大学推薦	JES 日本語教育普及奨学金 (検定)	給付	50,000円/月額	最長2年間 (在籍期間中に限る)	○	○	○				協会が実施する他の奨学金との併用可	○	○		・平成30年4月1日時点において、学部または大学院に正規生として在籍し、日本語指導者を目指す者 ・平成29年度に実施した日本語教育能力検定試験に合格した者 ・採用された場合の支給期間が平成30年4月より1学年相当以上ある者 ・採用された場合、他の奨学金の受給を目的として辞退することはできない	30名程度	学内選考無	2名	2名	1名	
3月	大学推薦	(一財) 野崎わかば会	給付	30,000円/月額	1年間	○				3年生	理工学部 数物・電子情報系学部	併用可	○	○		・成績優秀かつ人物に優れ、経済的に学業の継続が困難と認められる者で、かつ本人の目的に合致する者 ・情報化社会のさらなる発展に向けた人材の育成および教育環境の充実を目的とする ・採用された場合、認定証授与式へ必ず出席できる者 ・年3回、奨学金受領書および近況報告書の提出あり	記載無	1名	1名	1名	1名	
3月	大学推薦	(公財) 日揮・実吉奨学会	給付	300,000円/年額(一括支給)	1年間	○	○	○			原則30歳未満	理工系	併用可	○	○		・日本学術振興会特別研究員採用者でないこと ・過去に当会の奨学金を受給した者は応募不可 ・人物、学業ともに優れ、かつ健康であって、経済的に奨学金が必要であること ・採用後、面談あり	記載無	5名	学部21名 院53名	学部1名 院4名	学部1名 院4名
3月	大学推薦	(公財) 中部奨学会	給付/貸与	学部生: 給付・貸与35,000円/月額 修士: 給付・貸与60,000円/月額 博士: 給付60,000円/月額 ※貸与は無利息	最短修業年限まで	○	○	○				併用可	○	○		・人物、学業ともに特に優れ、健康にして経済的理由により著しく修学が困難な者	学部: 給付4名、 貸与8名 修士: 給付2名、 貸与4名 博士: 給付6名	学部、修士、 博士それぞれ 1~3名まで	学部19名 修士32名 博士7名	学部1名 修士1名 博士2名	0名	
3月	大学推薦	(公財) 日本証券奨学財団	給付	学部: 自宅35,000円/月額 自宅外45,000円/月額 修士: 自宅40,000円/月額 自宅外50,000円/月額 博士: 自宅45,000円/月額 自宅外55,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○		学部22歳以下 修士25歳以下 博士28歳以下 (2018年4月1日)	推薦人員2名中1名は社会科学系の法・経済系専攻者が望ましい	日本学生支援機構のみ併用可	○	○	○	・収入制限あり ・一定の職歴に従事していない者 ・推薦者2名中1名は社会科学系の法・経済専攻者が望ましい ・財団の各種行事等に必ず出席できる者	60名	2名	学部4名 院16名	学部1名 院1名	学部1名 院1名	
3月	大学推薦	宮崎県育英資金《宮崎県》	貸与	自宅外: 下記の3つの区分から選択 50,000円/月額(無利息) 38,000円/月額(無利息) 25,000円/月額(無利息)	最短修業年限まで	○						日本学生支援機構、母子及び父子並びに寡婦福祉法による修学資金との併用不可	○	○	○	・本人の生計を主として維持する者が宮崎県内に居住していること ・向学心に富み優れた資質を有しながら経済的理由により修学が困難であること	予算の範囲内	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	(公財) 山口県ひとづくり財団 《山口県》	貸与	43,000円/月額(無利息)	最短修業年限まで	○						併用不可	○	○		・保護者が山口県内に住所を有している者 ・向学心に富み優れた資質を有し、経済的理由により修学が困難と認められる者 ・卒業後、山口県内の企業等に就職し、山口県内に定住(継続して5年以上山口県内に住所を有すること)する意思のある者に対しては定住促進奨学金 月額貸与20,000円)を加算することも可	記載無	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	(公財) みずほ育英会	貸与	学部: 50,000円/月額(無利息) 大学院: 60,000円/月額(無利息)	最短修業年限まで	○	○	○				日本学生支援機構のみ併用可	○	○	○	・保護者年収目安900万円以下 ・毎月上旬にみずほ育英会事務局で直接奨学金を交付(首都圏在学者のみ) ・毎学業成績および生活状況報告書提出 ・財団主催行事への参加あり ・貸与奨学金のうち、主たる家計支持者の事情により、著しく学習の支弁が困難と認められた者に対しては、選考委員会の審議を経て理事長が決定したうえで給付奨学金(学部生30,000円/月額、大学院生40,000円/月額)が支給される可能性がある	若干名	2~3名	学部2名 院2名	院1名	院1名	
3月	大学推薦	(公財) 三菱UFJ信託奨学財団	給付	35,000円/月額	最短修業年限まで	○				原則2年生	満23歳以下	経済学部、経営学部、理工学部 併用可 (財団に届出必要)	○	○		・父母の税込年収合計800万円未満(ただし、就学中の兄弟姉妹が本人を含め3人以上の場合、税込年収1千万円未満を目標) ・財団主催行事への出席を優先できる者 ・専業主婦、専業主夫、社会へ有用な活動として、産業・文化面で活動し社会に貢献しようとする者、またはこれらの活動に関連する学術の研究を志す者 ・年1回、大学において財団との面談あり	記載無	2名	5名	2名	2名	
3月	大学推薦	川崎市大学奨学生《川崎市》	貸与	38,000円/月額(無利息)	最短修業年限まで	○				1年生		併用不可	○	○		・保護者が川崎市に1年以上居住していること ・学習の支弁が困難であること ・学業成績が優良で性行が善良であること	10名程度	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	(一財) ダイオーズ記念財団	給付	10,000円/月額	最短修業年限まで	○				学部満23歳以下 院満33歳以下 (2018年4月2日時点)		併用可	○	○	○	・前年度までの成績GPA3.00以上 ・世帯合計所得、給与収入の場合600万円未満、給与収入以外340万円未満 ・年2回の報告会に必ず出席できる者	25名程度	学内選考無	学部1名 院2名	学部1名 院2名	0名	
3月	大学推薦	(公財) 森下仁丹奨学会	給付	30,000円/月額	採用決定日より正規の最長修業期間	○	○					他の給付型奨学金との併用不可	○	○	○	・数年間は 東日本大震災被災学生を優先的に採用 ・家計基準 日本学生支援機構第1種の基準に準じる ・学力基準 学部1年生 高校評定値4.0以上、学部2年生以上 前年までに標準修得単位を修得済みであり、かつ前年度までの通算GPA2.8以上	学部5名 院5名	1名	16名	1名	0名	
3月	大学推薦	(公財) 北田奨学会記念財団 《福岡県》	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで	○				1年生		併用可	○	○		・福岡県内の高等学校を卒業した学部新一年生 ・学業優秀、品行方正でありながら経済的理由により修学が困難な者	若干名	5名以内	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	石川県育英資金《石川県》	貸与	44,000円/月額(無利息)	最短修業年限まで	○						日本学生支援機構との併用不可	○	○		・保護者が石川県内に現に引き続き3年以上居住していること ・勉学意欲があり、かつ、学習の支弁が困難な者 ・年収の上限あり(募集要項参照)一例: 4人家族 年収上限1,030万円程度	80名	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	福島県奨学資金《福島県》	貸与	35,000円/月額(無利息)	最短修業年限まで	○						貸与奨学金との併用不可	○	○		・福島県内の高校を卒業した者、高等学校卒業程度認定試験もしくは大学入学資格検定に合格した者(合格当時県内に住所を有していた場合に限り)、入学により住所を移転するまで県内に引き続き6か月以上住所を有していること ・県外の高校を卒業し、卒業月に福島県奨学資金を受けていた者 ・1年生: 高校時代の最終2カ年の評定が平均3.0以上 ・2年生以上: 大学における成績が本人の所属する学部の平均水準以上 ・家計基準 本人の生計を主として維持する者について、所定の基準以下	37名+予約採用 内定(89名)の辞退者	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	茨城県奨学資金《茨城県》	貸与	自宅: 36,000円/月額(無利息) 自宅外: 40,000円/月額(無利息)	最短修業年限まで	○						日本学生支援機構との併用不可	○	○		・茨城県内に居住する者の子弟であること ・前2カ年の成績評定が平均3.0以上であること。(特例あり) ・家計基準: 家計支持者について、所定の基準以下の者(募集要項参照) ・申請時、留年者は申し込み不可	80名程度	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	(公財) 旭硝子財団 ※旭硝子奨学会	給付	修士: 40,000円/月額 博士: 100,000円/月額	最短修業年限まで	○		○		1年生	1年生	修士: 併用可 博士: 日本学生支援機構のみ併用可	○	○		・2018年4月現在、修士(博士前期)課程1年または博士後期課程1年に在籍する者 ・品行方正、学術に優れ、健康であり、学習の支弁が必要と認められる者 ・独自の発想に基づき、社会へ有用な活動を行い、高い研究テーマに取り組む者 ・特異可能な社会の実現に向けて高い志を有する者 ・社会人学生は不可 ・奨学金授与式等財団指定行事に必ず参加できる者 ・収入も応募可能だが、支給期間が約半年短くなる	修士15名 博士15名	修士2名 (人文、自然) 博士2名 (人文、自然)	修士11名 (人文、自然) 博士1名 (人文、自然)	修士1名 (人文、自然) 博士0名 博士0名		
3月	大学推薦	(一財) 鹿野学術振興財団	給付	50,000円/月額(年間600,000円)	1年間	○		○		1~3年生	1年生	日本学生支援機構のみ併用可	○			・科学技術関係(電気電子工学、光学関連、画像処理関連、機械工学、物理学、情報工学、材料工学、化学関連、医療機器関連、健康・福祉関連、環境・エネルギー関連、農学・機能性食品等)を専攻している者 ・卒業後は製造業への就職を希望している者 ・過去に当該財団の奨学生に採用されたことがない者 ・採用された場合、東京で行う奨学生決定通知書授与式に必ず出席できる者	若干名	学内選考無	学部1名 院1名	学部1名 院1名	0名	
3月	直接応募	(一財) 鹿野学術振興財団	給付	50,000円/月額(年間600,000円)	1年間	○		○		1~3年生	1年生	日本学生支援機構のみ併用可	○			・科学技術関係(電気電子工学、光学関連、画像処理関連、機械工学、物理学、情報工学、材料工学、化学関連、医療機器関連、健康・福祉関連、環境・エネルギー関連、農学・機能性食品等)を専攻している者 ・卒業後は製造業への就職を希望している者 ・過去に当該財団の奨学生に採用されたことがない者 ・採用された場合、東京で行う奨学生決定通知書授与式に必ず出席できる者	若干名					
3月	直接応募	(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団《沖縄県》	貸与	学部: 45,000円/月額(無利息) 修士: 70,000円/月額(無利息) 博士: 80,000円/月額(無利息)	最短修業年限まで (1年毎の継続審査あり)	○	○	○				貸与奨学金との併用不可	○	○		・沖縄県内に住所を有する者の子弟(両親又はいずれかが沖縄県内に住民登録していること) ・成績が特に優秀な女子学部生1名は「ひめゆり同胞会奨学生」として採用されることがある ・成績が特に優秀な大学院生は「琉球球銀行又は沖縄銀行委託給付奨学金」として採用されることがある	学部72名程度 院9名程度					
3月	直接応募	公益信託池田育英会トラスト 《愛媛県》	給付	17,000円/月額 (7月・1月に10万2千円を給付)	最短修業年限まで	○				2年生以上		併用可	○	○		・愛媛県内の高等学校を卒業した者、または保護者が愛媛県内に居住している者 ・学業・人物ともに優秀で、経済的支援の必要者 ・推薦者(担当教員等)の経歴を記載 ・年度修了後に報告書の提出	3名					
3月	直接応募	(一財) トヨタ女性技術者育成基金	貸与	600,000円/年額(実質無利息)	在学期間中 (留年は不可)	○				1年生 編入3年生		工学系	併用可	○		・応募する年の4月現在、学部1年生の女性、または高等専門学校から編入し学部3年生として在学する女性 ・学業成績優秀で、当基金の主旨に賛同し、将来製造業社でのつくりに関わる女性エンジニアとして活躍していく意欲、熱意のある者 ・当基金又は参加企業が主催する育成プログラムに参加できる者 ・卒業後、対象会社の採用試験を受け、対象会社に入社または他の参加企業に入社した場合は全額免除、他の参加企業以外の製造業社に入社した場合は半額免除の元金返済免除制度あり	116名				1名	
3月	直接応募	(公財) 古河記念基金	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで (最長6年)	○		○		2年生以上		理工系(特に金属その他資源関係)を優先	○	○	○	・日本語の学生で平成30年4月現在、学部2年生以上または大学院に在籍する理工系専攻(奨学金を含む)の者 ・金属系の他資源関係の学生を優先とする ・学業成績や取得単位数が優秀で、卒業までの進級が十分見込めること ・家庭の経済状況が、年収900万円を超えないこと(税込み、年収収入および兄弟の収入は算入しない) ・採用された場合、奨学金支給願書、保護者の前年収入証明書等の必要書類の提出あり	記載無					
3月	直接応募	福井県ものづくり人材育成奨学資金	貸与	60,000円/月額(無利息)	最短修業年限まで	○		○				理工系	併用可	○		・全国の理工系大学院生を対象、福井県のものづくり企業(募集案内参照)に勤務して、研究開発業務に従事することを希望する者であれば、福井県出身者かどうかは問わない ・大学院修了後、福井県のものづくり企業に7年間勤務した場合、返済を全額免除 ・本人や親の収入による支給制限なし	15名程度					
3月	直接応募	(公財) 東電記念財団 【年度支給】	給付	50,000円/月額(年4回の分割払)	最短修業年限まで (最長3年)	○		○			28歳未満(翌4/1現在)	日本学生支援機構等の公的奨学金との併用可	○	○		・翌年度に博士後期課程への進学を予定している者 ・現在、博士後期課程1年または2年に在学中で、翌年度に連続を予定している者 ・同一年度内に当該財団の他の募集との併用はできない ・現在、当該財団の助成を受けていない者 ・採用後、支給開始以降留年する場合は、原則としてその期間は給付を停止する(帰国後、申請により修業年限までの給付再開は可能)	5名程度					
3月	直接応募	(一財) 日本教育文化財団	給付	20,000円/月額(年間240,000円)	最短修業年限まで	○				1年生	25歳以下	併用可	○	○		・日本語を有する学部1年生 ・学業優秀かつ品行方正であり、経済的理由により学習の支弁が困難であること	10名					
3月	直接応募	在日本朝鮮人教育会	給付	学部1年生: 160,000円/年額 学部2年生以上: 200,000円/年額	1年間 (毎年再審査あり)	○					30歳未満	給付奨学金との併用不可	○	○	○	・在日朝鮮人学生(国籍不問、朝鮮半島にルーツを持つ学生) ・本会からの留学生は不可 ・本会からの指定行事及び後援行事に積極的に参加する意思のある者	記載無					
3月	直接応募	(公財) 戸部真紀財団	給付	50,000円/月額(年間600,000円) ※併付(返済義務なし)の場合は半額となる場合がある	1年間	○		○		3.4年生	30歳以下 (平成30年4月1日現在)	化学・食品科学・芸術学・体育学・スポーツ科学・経営学	併用可 (ただし支給額減額)	○		・化学・食品科学・芸術学・体育学/スポーツ科学・経営学の分野で修学している者(専門課程は対象外) ・向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正であり、学習の支弁が困難と認められる者 ・奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者 ・採用された場合は財団が行う交流会に出席すること ・支給期間終了後、当該年度実績等を審査し、1年間を限度に継続を認める場合あり	42名					
3月	直接応募	上越学生奨学学生 《上越市、妙高市、糸魚川市》	貸与	学部: 70,000円/月額(無利息) 大学院: 100,000円/月額(無利息)	貸付決定月(6月)から最短修業年限まで	○	○	○				併用可	○			・上越市、妙高市、糸魚川市のいずれかに3年以上住所を有した者で、かつ、そこに所在する中学校または高等学校を卒業した者	学部6名 院0名 (前年実績)					
3月	直接応募	和歌山県奨学資金返還助成制度	返還補助	奨学金返還に相当する額(最大1,000,000円)	参画企業に就職し3年勤務後	○	○	○				理工系、情報系	○	○		・以下の全てに該当する者 ・日本学生支援機構奨学金またはその他の貸与型奨学金(知事が認めるもの)の返還予定者または返還中の者 ・理工系、情報系の学部・研究科(学府)に在籍し、平成31年3月卒業(修了)予定の者 ・対象企業(和歌山県労働政策HP参照)が実施するインターンシップまたは企業説明会に参加予定の者 ・卒業(修了)後、対象企業に継続して3年間以上勤務することを予定している者	50名					
3月	直接応募	山梨県ものづくり人材就業支援事業補助金	返還補助	通算9年間勤務: 卒業前2年間の貸与額(上限)	平成31年4月初日を起点とした10年間で8年間以上	○	○	○				理学部、工学部もしくはこれらに準ずる学部・研究科(学府)	○			・日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けている者 ・平成30年度中に卒業(修了)予定の者 ・平成31年3月末までに対象企業(詳細は募集要項参照)における、企画・開発、製造部門への就職を希望している者 ・平成31年4月初日を起点とした10年間に、8年以上山梨県内に勤務し、かつ県内に定住する見込みであること	概ね30名					
随時	大学推薦	JASSO支援金	給付	100,000円/一回	同一の災害につき一回	○	○	○				併用可	○	○		・自然災害の発生により、居住する住宅(学生が学生生活の本拠として日常的に使用している日本国内の住宅をい)に半壊以上の被害(全壊・半壊・全壊・半壊失・全流出・半流出・全埋没・半埋没・床上浸水)を受けた場合または自然災害等による危険な状態が発生し、自治体の避難勧告等による住居への立ち入り禁止等が1か月以上継続した場合 ・学業に支障がある、修業年度で学業を継続して修了できる見込みがあることと学長が認める者 ・入学前、休学中、成績不振により留年中に発生した災害は対象外 ・申請は随時受付(自然災害等発生月の翌月から起算して3か月を超えない期間内かつ在学中であること)	記載無	学内選考無				
随時	大学推薦	石川県育英資金《石川県》	貸与	44,000円/月額(無利息)	採用決定から採用年度末まで (継続申請あり)	○						日本学生支援機構との併用不可	○	○		・保護者が石川県内に現に引き続き3年以上居住していること ・家計が急変した者(主たる家計支持者の解雇、早期退職、再就職したが収入が著しく減少、死別、離別、破産、病気、事故、会社倒産、経営不振、火災、風水害、震災等の災害等) ・審査は随時受付	5名以内	学内選考無				
随時	大学推薦	(公財) 長崎県育英会 《熊本地震災害被災奨学生》	貸与	41,000円/月額(無利息)	最短修業年限まで	○						日本学生支援機構との併用不可	○			・熊本地震災害で学生又はその保護者が被災を受け、経済的理由により修学が困難な者 ・長崎県内に住所を有する者の子弟で、大学等に在学者(大学院を除く) ・成績要件、所得要件ともに問わない ・収入証明書の提出が必要(写しでも可) ・審査は随時受付	記載無	学内選考無				